



平成24年度 地区座談会資料

※開催日と開催会場

平成25年2月4日（月）仁賀保地区	「むらすぎ荘」
平成25年2月5日（火）由利・矢島・鳥海地区	「日新館」
平成25年2月6日（水）岩城・大内地区	「道の駅岩城」
平成25年2月7日（木）本荘・東由利地区	「道の駅湯楽里」

本荘由利森林組合

ホームページ <http://www.honmori.com/>
メールアドレス honmori@trad.ocn.ne.jp

次 第

1. 組合長あいさつ

2. 組合の状況等 P 1

3. 資料説明

① 指導総務 P 2～P 4

P 2. 造林コンクール・林業講演会について

P 3. 総代選挙日程等について

P 4. //

② 加 工 P 5

P 5. 製材工場稼働状況

③ 林産販売 P 6～P 8

P 6. 共販市況、スギ丸太価格について

P 7. 木材価格の推移について

P 8. 円柱加工について

④ 造 林 P 9～P 10

P 9. 森林環境保全直接支援事業について

P 10. 造林補助事業実績について

4. 質疑応答

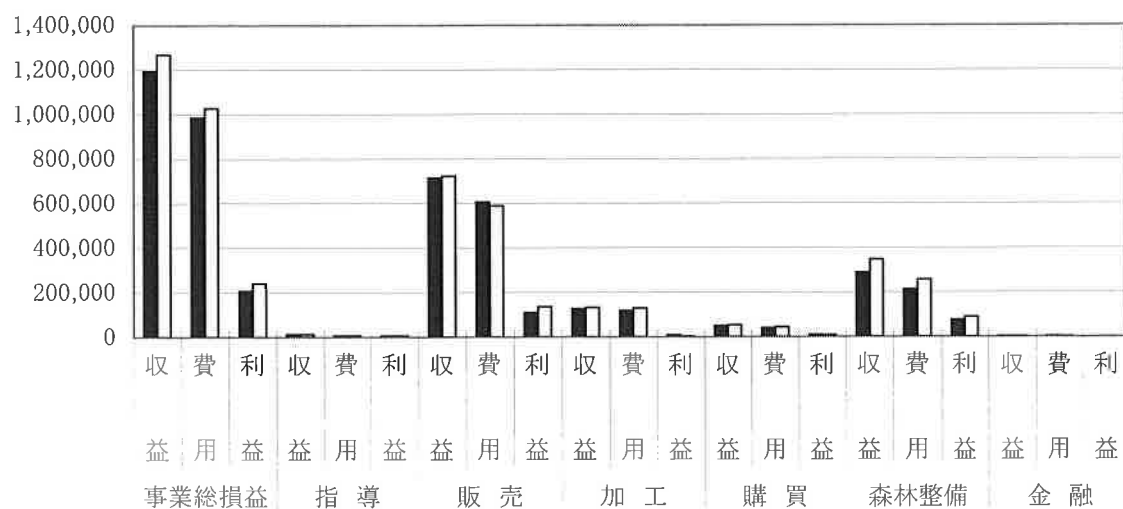
平成24年度 事業進捗状況

12月末現在

単位：千円

区分		平成24年度	平成23年度	前年度対比	計画	計画対比
事業 総損益	収益	1,193,573	1,269,511	94%	2,167,350	55%
	費用	985,920	1,027,323	96%	1,790,354	55%
	利益	207,653	242,189	86%	376,996	55%
指導	収益	12,993	13,556	96%	13,357	97%
	費用	7,829	7,875	99%	14,760	53%
	利益	5,164	5,681	91%	-1,403	
販売	収益	714,421	722,498	99%	1,148,380	62%
	費用	605,735	587,796	103%	967,050	63%
	利益	108,686	134,702	81%	181,330	60%
加工	収益	126,488	132,145	96%	192,000	66%
	費用	118,123	129,131	91%	172,000	69%
	利益	8,365	3,014	278%	20,000	42%
購買	収益	50,328	53,677	94%	63,700	79%
	費用	40,778	44,561	92%	51,500	79%
	利益	9,551	9,116	105%	12,200	78%
森林 整備	収益	288,091	346,142	83%	748,250	39%
	費用	212,356	256,652	83%	583,600	36%
	利益	75,735	89,490	85%	164,650	46%
金融	収益	1,251	1,494	84%	1,663	75%
	費用	1,099	1,307	84%	1,444	76%
	利益	153	187	82%	219	70%

■平成24年度 □平成23年度



第18回造林コンクール受賞者一覧表

本組合主催、第18回造林コンクールの受賞者が次のとおり決定しました。
表彰式は、2月22日（金）午後1時30分から本荘グランドホテルで行われます。

部 門		順 位	氏 名	地 区 名
第 1 部 (幼齡林)	森林組合長賞奨励賞	1	蒲田集落 総代 木内武利	由利地区
	森林組合長賞奨励賞	2	南福田集落 総代 鈴木喜信	由利地区
第 2 部 (枝打ち)	県森林組合連合会長賞	1	大 庭 幸 夫	東由利地区
	森林組合長賞	2	三 浦 専一郎	矢島地区
	森林組合長賞	3	工 藤 祐 康	岩城地区
第 3 部 (保育間伐)	応募なし。			
第 4 部 (収穫間伐)	由利地域振興局長賞	1	共有代表 尾留川眞史	由利地区
	由利地域振興局長賞	1	加藤権兵衛	本荘地区
	森林組合長賞	3	長泥中屋敷造林組合 代表 佐藤近美	矢島地区
第 5 部 (育成天然林)	由利森林管理署長賞	1	大 友 輝 夫	鳥海地区

***** 林 業 講 演 会 *****

開催日時 平成25年2月22日（金）午後2時10分～
 開催場所 本荘グランドホテル
 演 題 「スギ人工林の利用を考える！」
 ～皆伐と原木丸太の仕分け～
 講 師 秋田県立大学 木材高度加工研究所
 教授 高 田 克 彦 氏 （農学博士）

総 代 選 挙 日 程 等

- 1 総代選挙の期日 平成25年3月12日（火）
- 2 選挙の投票時間 午前7時から午後5時まで
- 3 立候補届出期間 平成25年3月1日～平成25年3月6日
- 4 選挙される総代数

選挙区	地 区 名	定 数	選挙区	地 区 名	定 数
第1区	由利本荘市本荘地区	57名	第5区	由利本荘市由利地区	35名
第2区	にかほ市	43名	第6区	由利本荘市鳥海地区	28名
	由利本荘市西目地区		第7区	由利本荘市東由利地区	30名
第3区	由利本荘市矢島地区	28名	第8区	由利本荘市大内地区	54名
第4区	由利本荘市岩城地区	25名	合計		300名

5 投票区及び投票所

地 区	投 票 所	投 票 区 域
第1区 由利本荘市本荘地区	本荘由利森林組合本所	本荘地区、子吉地区 松ヶ崎地区
	由利本荘市生活改善センター	石沢地区、小友地区
	北内越公民館	北内越地区、南内越地区
第2区 にかほ市 由利本荘市西目地区	象潟公民館	象潟地区
	むらすぎ荘	仁賀保地区、金浦地区
	本荘由利木材流通センター	西目地区
第3区 由利本荘市矢島地区	矢島支所	矢島地区
第4区 由利本荘市岩城地区	岩城支所	岩城地区
第5区 由利本荘市由利地区	由利支所	由利地区
第6区 由利本荘市鳥海地区	鳥海基幹集落センター (旧鳥海支所)	鳥海地区
第7区 由利本荘市東由利地区	東由利支所	東由利地区
第8区 由利本荘市大内地区	大内支所	大内地区

6 選挙管理者等

選挙管理者	1人
選挙立会人	3人
投票管理者・開票管理者（投票区ごとに1人）	
投票立会人・開票立会人（投票区ごとに3人）	

総代の候補者は、管理者及び立会人になることができない。

7 総代選挙日程

平成25年

3月 1日 (金)	総代選挙の通知、公告（選挙期日の10日前まで）、立候補届出受付	
3月 2日 (土)		
3月 3日 (日)		
3月 4日 (月)		
3月 5日 (火)		
3月 6日 (水)	立候補届締切（選挙期日の5日前まで）	選挙区によっては、 【投票を行わない旨の公告】と 【当選通知と当選者の公告】
3月 7日 (木)	【就任公告】	
3月 8日 (金)	立候補辞退締切及び推薦取消（選挙期日の3日前まで）	
3月 9日 (土)		
3月10日 (日)		
3月11日 (月)	立候補者及び辞退者の公告	
3月12日 (火)	選挙期日 投票7:00~17:00	
	投票を行う場合、立候補者の掲示 即日開票 当選公告及び当選通知	
3月13日 (水)	就任公告	
3月14日 (木)		
3月15日 (金)		
)		
5月 8日 (水)	現総代任期満了	
5月 9日 (木)	新総代就任	

【 】書きは無投票の場合

平成24年度 西目製材工場 稼働状況

()内は昨年数値

月	消費原木	単位	製品生産量	単位	製品等売上	単位
4	587	m3	328	m3	19,122	千円
5	674	m3	347	m3	13,867	千円
6	741	m3	385	m3	13,298	千円
7	734	m3	345	m3	12,539	千円
8	670	m3	322	m3	10,886	千円
9	672	m3	358	m3	13,703	千円
10	695	m3	336	m3	11,124	千円
11	716	m3	354	m3	13,655	千円
12	525	m3	284	m3	9,075	千円
1		m3		m3		千円
2		m3		m3		千円
3		m3		m3		千円
合計	6,014	m3	3,059	m3	117,269	千円

(5,796)

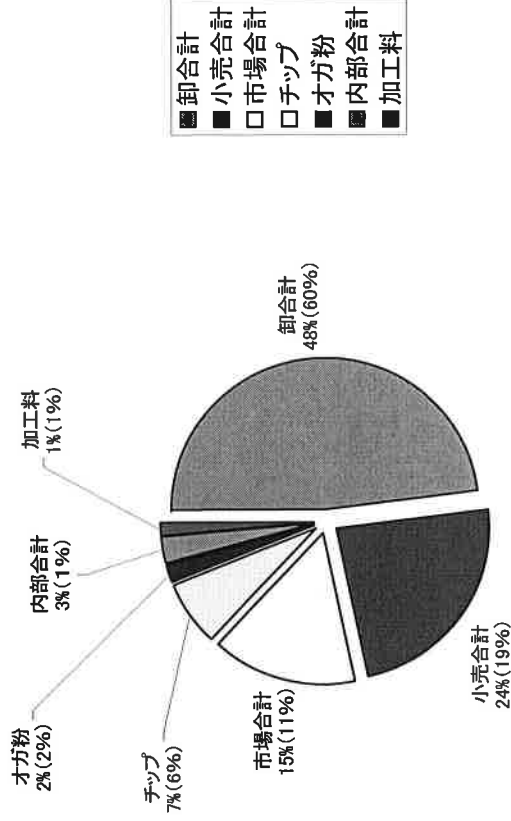
(2,776)

(123,826)

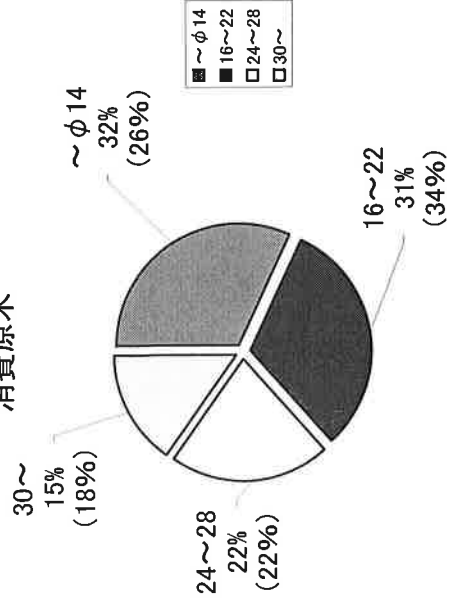
203日稼働
↓
29.5m3/日

製品歩留り
↓
50.9%

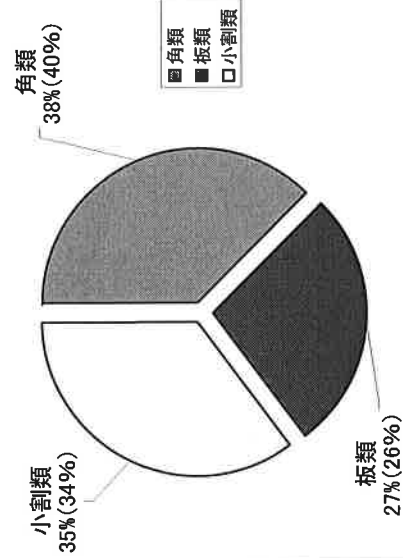
全体の業種別売上一覧



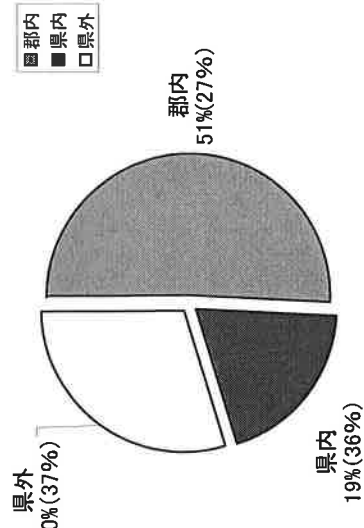
消費原木



製品生産量



地域別売上一覧



第 2 5 3 回 本 組 合 共 販 市 況

平成 2 5 年 1 月 1 1 日

径 級	平均単価 (石)
1 4 c m 以下	1, 2 9 6 円
1 6 ~ 2 2 c m	2, 4 7 3 円
2 4 ~ 3 4 c m	3, 3 4 2 円

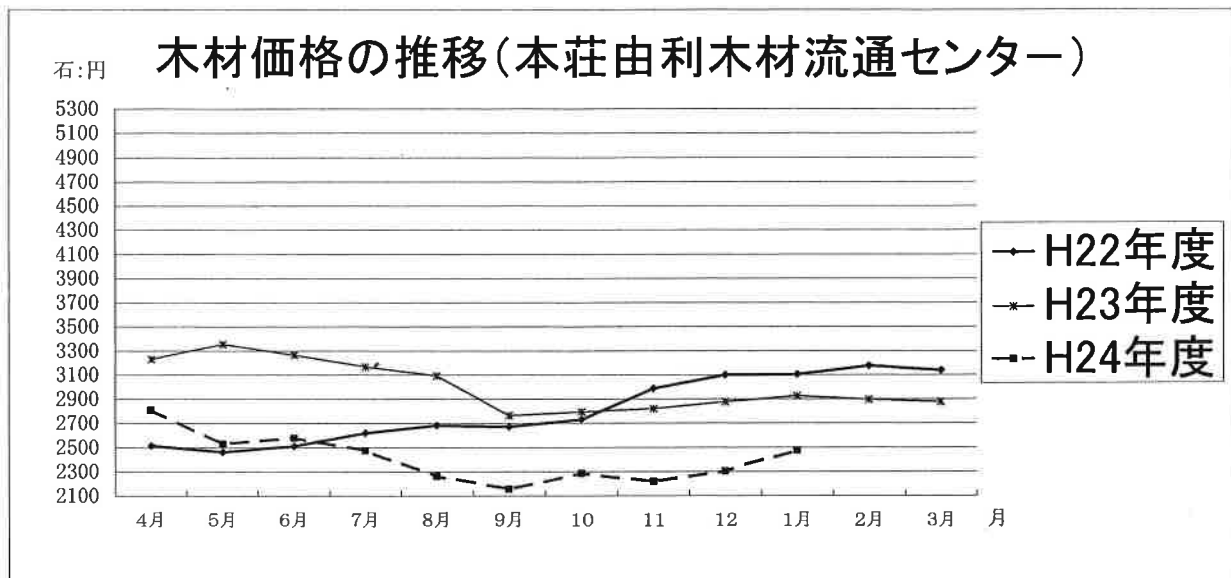
○売払金額 1 2, 8 6 0, 6 5 0 円
 ○出品材積 1, 3 1 8. 2 0 2 m³
 ○出品口数 4 4 口
 ○売払材積 1, 3 1 8. 2 0 2 m³
 ○売払口数 4 4 口
 ○落札率 1 0 0. 0 0 %
 ○参加者 9 名
 ○落札者 7 名

概 況

量産工場、山形・新潟県勢などの参加により、各径級とも強含みの展開。
 良材には4～5枚の応札があり、材を確保しようとする動きが顕著になった。
 各径級とも万遍なく応札があり完売。

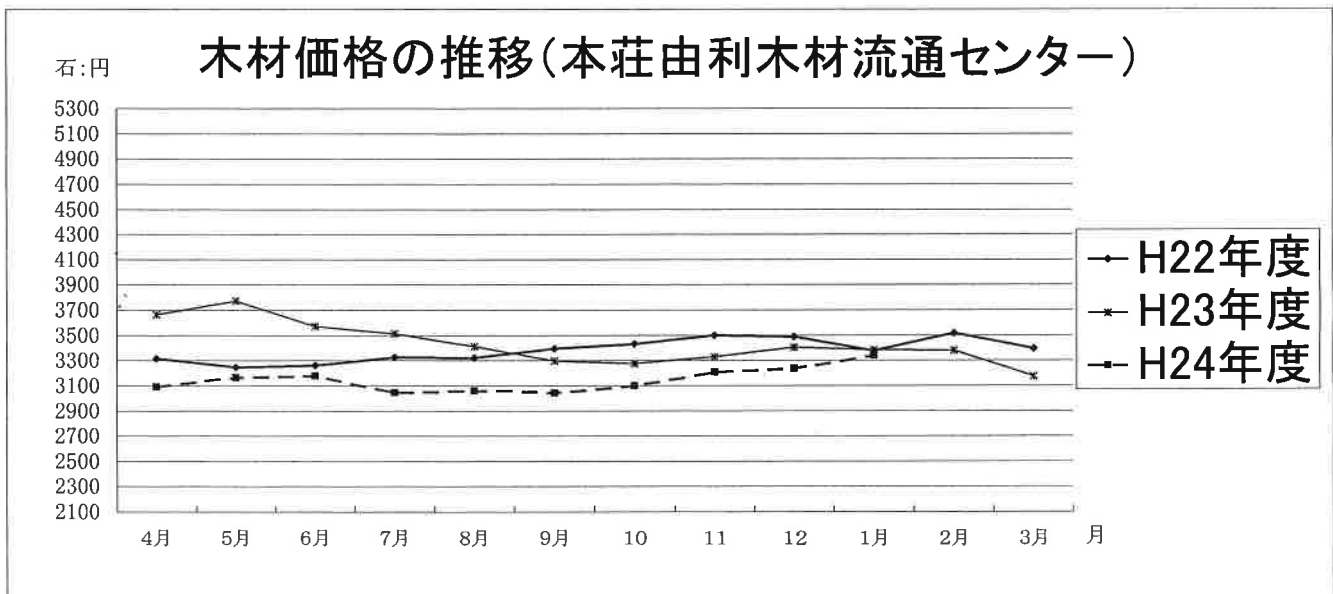
杉 丸 太 価 格 表 (一 般 材)

長 級	径 級	販売単価 (石)	主な販売先
3.65・4.00 <small>m</small>	1 4 c m 下	1, 1 0 0 ~ 1, 5 0 0 <small>円</small>	組合加工工場 (製材・円柱)
3. 6 5	1 6 ~ 2 2 c m	2, 4 0 0 ~ 2, 5 0 0	組合加工工場 共販
3. 6 5	2 4 ~ 3 4 c m	2, 8 0 0 ~ 3, 5 0 0	組合加工工場 共販
3. 6 5	3 6 c m 以上	2, 7 0 0 ~ 3, 5 0 0	組合加工工場
3. 6 5	曲り材 (込)	1, 5 0 0 ~ 1, 9 0 0	県外製材所
2.00・4.00	劣材 1 4 ~ 1 6 c m 1 8 c m 以上	1, 0 0 0 ~ 1, 2 0 0 1, 9 0 0 ~ 2, 4 0 0	合板工場



長級3.65m(12尺) 径級16cm~22cm 直材

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H22年度	2,513	2,461	2,508	2,617	2,681	2,671	2,732	2,988	3,100	3,104	3,174	3,138
H23年度	3,230	3,355	3,263	3,166	3,090	2,765	2,793	2,820	2,876	2,925	2,898	2,877
H24年度	2,807	2,530	2,576	2,473	2,263	2,157	2,284	2,213	2,302	2,472		



長級3.65m(12尺) 径級24cm~34cm 直材

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H22年度	3,315	3,246	3,263	3,327	3,324	3,396	3,432	3,499	3,488	3,377	3,515	3,393
H23年度	3,665	3,773	3,571	3,512	3,411	3,299	3,274	3,331	3,404	3,384	3,379	3,174
H24年度	3,094	3,164	3,177	3,047	3,060	3,042	3,100	3,204	3,233	3,342		

円柱加工の稼働状況

1. 事業の概要

- (1) 事業場所 由利本荘市水林地内
- (2) 設備の内容 円柱加工機及び粉碎機外木工機械
- (3) 円柱可能径 $\phi 6\text{ cm} \cdot \phi 8\text{ cm} \cdot \phi 9\text{ cm} \cdot \phi 10\text{ cm} \cdot \phi 11\text{ cm}$
 $\phi 12\text{ cm} \cdot \phi 15\text{ cm} \cdot \phi 20\text{ cm}$ 、全8種類
- (4) 用途 森林土木用(木柵工、木製パネル、防風柵工、他)

2. 平成23年度実績

- (1) 原材料数 1, 939 m³
- (2) 販売実績
 - 円柱製品等 88, 110本
 - オガ粉 1, 422 m³
 - 売上金額 75, 567千円

3. 平成24年度稼働実績 (12月末)

- (2) 販売実績
 - 円柱製品等 47, 371本
 - オガ粉 1, 660 m³
 - 売上金額 47, 344千円

4. 加工丸太一般小売り (組合員) 単価表

杉円柱加工丸太 (1本単価) 組合工場渡しの価格 単位: 円

径級/長級	1. 2 m	1. 5 m	1. 8 m	3. 6 m
$\phi 6\text{ cm}$	250	320	390	830
$\phi 8\text{ cm}$	330	440	530	1, 100
$\phi 9\text{ cm}$	400	510	610	1, 280
$\phi 10\text{ cm}$	500	630	750	1, 550
$\phi 11\text{ cm}$	600	760	900	1, 900
$\phi 12\text{ cm}$	720	900	1, 080	2, 270
$\phi 15\text{ cm}$	1, 120	1, 400	1, 680	3, 550

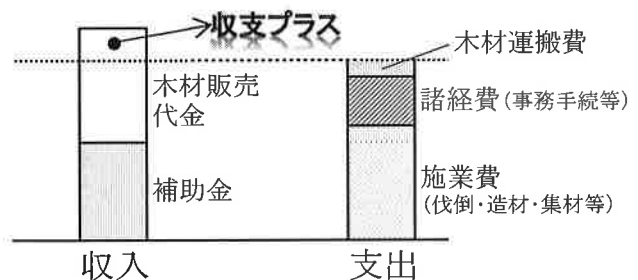
森林環境保全直接支援事業（造林補助）

～補助金を活用し森林の整備を行う場合には～

事業内容	利用期を迎えつつある森林資源を活用し持続的な森林経営を実現するため、施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ計画的に、搬出間伐等の施業と一体となった森林作業道の開設等を行う。
支援対象	森林経営計画の認定を受けた森林
支援対象作業	植栽、下刈(10年生以下)、除伐(25年生以下)、枝打(30年生以下)雪起し(25年生以下)、間伐(60年生以下)、更新伐(90年生以下)森林作業道の開設
補助率	68% (県標準単価×実施面積×68%が補助金額となります。)
支援条件	間伐については、森林経営計画ごとに5ha以上の集約化かつ10m ³ /ha以上の搬出が必要となります。 また、その他の作業においても条件がありますのでご注意ください。

◎補助金を受け作業した場合（例）

右の図は搬出間伐を実施した場合の収支のイメージです。
間伐して搬出できた材の量によっても、コストが変わってきます。



森林経営計画の認定を受けた森林とは

1. 認定を受ける為の条件…所有する森林面積が100ha以上（属人計画）
林班又は隣接する複数林班の面積1/2以上（属地計画）
属地計画とは、「経営委託した森林」や「所有者自ら経営を行う森林」と一緒になり各地域毎に共同で作成する計画です。
※属地計画は組合で作成していますが、1/2の同意を得られず森林経営計画団地を組めない地域も少なくありません。今後とも皆様のご理解を得ながら進めて参りますのでご協力をお願いします。
2. H24年度森林経営計画認定森林面積（見込み）…15,000ha
3. 森林経営計画参加者数…1,850名
うち森林経営委託者数…1,310名（1月末現在）

平成24年度 造林補助事業実績(1月末)

今年度は森林環境保全直接支援事業、森林整備加速化事業合わせて約4億円の予算に対して、1月末では約3.47億円の実績となっています。現在、3月の最終申請日に向けて、組合員皆様のご理解を頂きながら事業に取り組んでいます。

造林補助事業実績(1月末)

上段:面積
中段:搬出材積
下段:国県補助額

施業種	6月申請	9月申請	12月申請	2月申請	加速化事業	合計
人工造林	2.92	49.32	18.75	13.47		84.46
	1,854,275	36,133,674	13,024,637	19,246,538		70,259,124
下刈		476.65	16.63			493.28
		37,729,204	1,192,084			38,921,288
除伐	5.07	74.65	105.32	77.65		262.69
	425,254	7,152,344	9,690,570	6,917,521		24,185,689
枝打	6.43	19.95	2.43	4.45		33.26
	905,375	2,544,866	575,663	719,152		4,745,056
間伐	109.63	75.71	30.87	9.73	113.00	338.94
	5,469.000m3	4,847.515m3	822.896m3	634.551m3		11,773.962m3
	27,290,763	22,487,710	4,743,878	3,139,005	33,000,000	90,661,356
更新伐	5.86					5.86
	1,771,793					1,771,793
雪起こし	4.24	359.30				363.54
	504,593	45,305,661				45,810,254
森林 作業道	21,377.0m	22,013.0m	5,221.4m	3,747.8m	19,900.0m	72,259.2m
	20,020,379	20,142,401	5,246,524	4,518,497	21,000,000	70,927,801
合計	134.15	1055.58	174.00	105.30	113.00	1582.03
	52,772,432	171,495,860	34,473,356	34,540,713	54,000,000	347,282,361

*今年度より「森林経営計画」の認定を受けた森林でないと補助事業の対象となりません。
詳細については本所、又は各支所にお問い合わせ下さい。



A series of horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for writing or drawing.

JForest森林組合綱領

— 私たち森林組合のめざすもの —

私たち森林組合は、地域の森林管理主体として、地域の森林を協同の力で育て守り続け、森林環境保全と林業発展を通じて、地球温暖化防止へ貢献するとともに、水源の保全、国土の安全、健全な森林環境と良質の木材を国民へ提供しながら、健康で安心、豊かな住生活を支えていくことを使命とします。

私たち森林組合の組合員・役職員は、こうした使命を自覚し、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主・自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、平和とより民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、私たち森林組合の組合員・役職員は、次のことを宣誓し、責任を持って行動します。

- 一、森林(もり)の恵みに感謝し、地球環境保全のため、豊かな森林(もり)を未来に引き継ごう。
- 一、森林(もり)を守り育て、林業と山村を活性化しよう。
- 一、JForest森林組合への積極的な参加によって、協同の力を発揮しよう。
- 一、自主・自立、民主的運営を基本に、開かれた組合経営を目指そう。
- 一、協同の理念と誇りある仕事を通じて、共に生きがいを追求しよう。